

外壁塗装の「保証」で後悔しないためのチェックリスト

i 「10年保証があるから安心」とは限りません。このリストを使って、契約前に「その会社がどこまで責任を持ってくれるか」を確認しましょう。

☐ 「何年保証か」だけでなく「内容」を説明してくれた

施工不良の定義を言葉で説明してくれましたか？

▲ 説明がない＝形だけの可能性

☐ 点検やアフターフォローの話があった

定期点検の有無を確認しましたか？

● 保証は「施工後」が本番

☐ 施工不良の具体例をきちんと話してくれた

乾燥不足や下地判断ミス等の説明はありましたか？

▲ 曖昧にする会社は要注意

☐ 問題が起きた場合の流れを説明してくれた

連絡→確認→対応の流れは明確ですか？

● トラブル対応力＝信頼度

☐ 塗料と下地の相性について説明があった

相性が悪い場合のリスクも聞いておきましょう。

▲ 判断ミスは保証の分かれ目

☐ 担当者が保証について逃げずに話した

デメリットも正直に話してくれましたか？

● 姿勢は言葉に表れます

☐ 「天災は保証外」の説明が具体的だった

どこまでが天災扱いか確認しましたか？

▲ 「全部天災」は危険信号

☐ 過去のお客様の事例を話してくれた

実際に保証対応した例を聞けましたか？

● 実績＝安心材料

☐ 保証書の内容を契約前に見せてくれた

口約束はNG。ひな形を確認しましょう。

▲ 保証書の後出しはNG

☐ 「保証は会社の姿勢」と言ってくれた

書類より「向き合い方」を重視していましたか？

● 信頼度が非常に高い

🔍 チェック結果の見方

8個以上

安心して
検討できる

5～7個

比較・質問を
増やすべき

4個以下

再検討を
おすすめ